

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

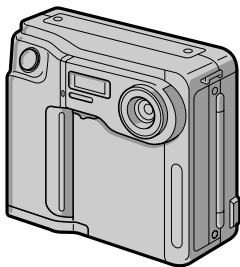


警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital
Mavica
MVC-FD51



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

目次

必ずお読みください	4
お使いになる前に	5
準備	
準備のすすめかた	6
準備1：バッテリーを充電する	7
準備2：バッテリーを本体に入れる	8
準備3：日付・時刻を合わせる	10
基本	
撮影する	12
撮影中の画面表示	15
液晶画面の明るさを調節する	16
フラッシュ/セルフタイマー	16
明るさを調節する	17
液晶画面で見る	18
再生中の画面表示	19
液晶画面の明るさを調節する	19
画像を6枚ずつ表示する(インデックス表示)	20
撮った画像にプロテクトをかける	20
撮った画像を消去する	24
パソコンで見る	27
使いこなす	
メニューで設定を変える	28
画像に特殊効果を与える ピクチャーエフェクト	31
その他	
ボタン型リチウム電池を交換する	32
使用上のご注意	33
故障かな?と思ったら	35
自己診断表示 アルファベットで始まる表示が出たら	37
主な仕様	38
各部のなまえ	39
保証書とアフターサービス	41
海外で使うとき	41
索引	42

必ずお読みください

別売りのアクセサリキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリキットの取扱説明書をご覧ください。

本機の画像記録方式について

本機は、撮影した画像データをJPEG (Joint Photographic Experts Group) 方式で圧縮 / 記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。詳しくは27ページをご覧ください。

電源について

本機の電源にはソニー製インフォリチウムバッテリー * NP-F530、F550 (別売り) を使用します。それ以外のバッテリーや電源はお使いになれません。

ためし撮り


必ず事前にためし撮りをし、正常に記録されていることを確認してください。



撮影内容の補償はできません。

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

*  **InfoLITHIUM**™ (インフォリチウム) バッテリーとは

 **InfoLITHIUM** (インフォリチウム) 対応の機器との間でバッテリー使用状況に関するデータ通信を行うことのできるバッテリーです。本機は  **InfoLITHIUM** (インフォリチウム) 対応です。InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。

お使いになる前に

本機はフロッピーディスクをメディアとして使用するデジタルスチルカメラです。使用できるフロッピーディスクは以下の通りです。

- サイズ： 3.5インチ
- タイプ： 2HD
- 容量： 1.44Mバイト
- フォーマット： MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)

上記以外の3.5インチ2HDフロッピーディスクで使用する場合は、本機またはお手持ちのパソコンでフォーマットしてお使いください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動や画像が記録できなくなることがあるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなったり、撮影済みの画像データが破損することがあります。

湿気にご注意ください！

本機は電子機器のため、水に濡れると動作しません。雨の日など屋外での撮影時は本機を濡らさないようご注意ください。また、温度差のある場所へ移動すると、本機に水滴が付く結露現象が起きることがあります。結露が起きたときは34ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

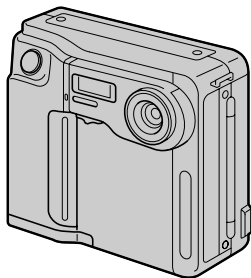
バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

準備のすすめかた

必要なもの

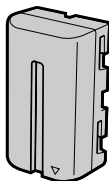
本体



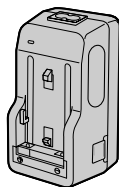
フロッピーディスク(別売り)
3.5インチ2HD(1.44Mバイト)

アクセサリキット(別売り)

バッテリー
(NP-F550)



バッテリー
チャージャー
(BC-V615)



- 電源コード
- ショルダーベルト

準備の流れ

お買い上げ時には、日付・時刻は設定されていません。はじめに必ず日付・時刻を合わせてください。

1 バッテリーを充電する(7ページ)

アクセサリキット(別売り)のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電します。

2 バッテリーを本体に入れる(8ページ)

本機はバッテリーで動作します。お使いになるときは、充電済みのバッテリーを本体に入れてください。

3 日付・時刻を合わせる(10ページ)

時刻設定はMS-DOS方式でのファイルの記録に必要です。

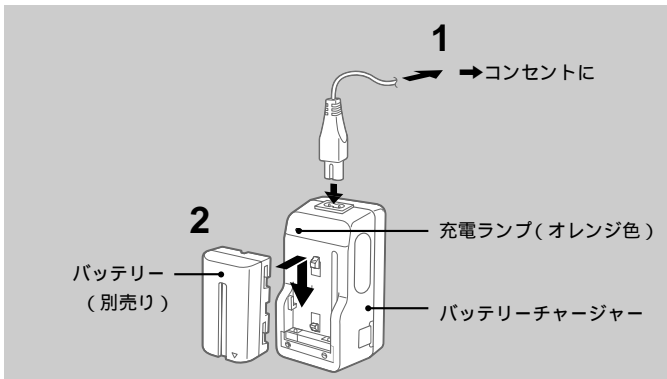
設定しないと

- 実際と違う日時が記憶される。
- CAMERA(撮影)状態で電源を入れるたびに日付設定画面が表示される。

準備1：バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りの充電器が必要です。

別売りのバッテリーチャージャーの取扱説明書も合わせてご覧ください。



1 コンセントにつなぐ。

2 バッテリーを押しながら下にずらしてつける。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。

充電器から取りはずす

バッテリーを上にはずらす。

充電時間

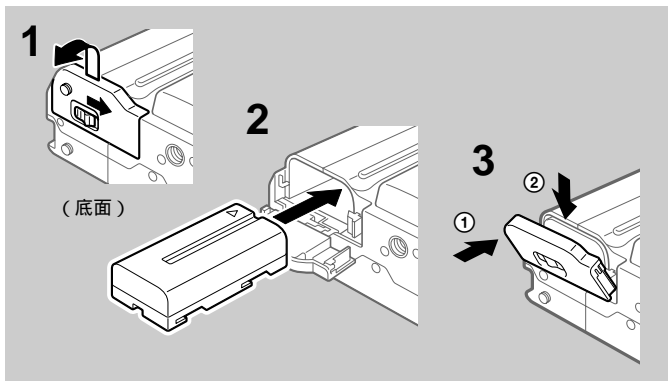
バッテリー	満充電時間*	実用充電時間**
NP-F530	約225分	約165分
NP-F550	約240分	約180分

使い切ったバッテリーをバッテリーチャージャーBC-V615で充電したときの時間です。

* 充電ランプが消えてから、約1時間充電したとき。

** 充電ランプが消えるまで充電したとき

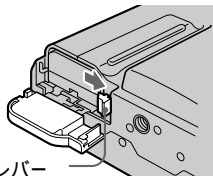
準備2：バッテリーを本体に入れる



- 1 バッテリーカバーのOPEN(BATT)つまみを矢印方向に引きながら、ずらして開ける。
- 2 バッテリーを入れる。
バッテリーの▼マークが奥になるように押し込む。
- 3 バッテリーカバーを閉め、カチッと音がするまで押し込む。

本体から取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしレバーをずらし取り出す。
バッテリーが落下しないようご注意ください。



バッテリー取りはずしレバー

使用時間 / 撮影可能枚数

バッテリー		使用時間	撮影 / 再生枚数
NP-F530	連続撮影時		
	フラッシュ不使用 ¹⁾	約120分(105)分	約880枚(770)枚
	フラッシュ使用 ²⁾	約115分(100)分	約520枚(450)枚
	連続再生時 ³⁾	約165分(145)分	約1230枚(1080)枚
NP-F550	連続撮影時		
	フラッシュ不使用 ¹⁾	約150分(140)分	約1100枚(1020)枚
	フラッシュ使用 ²⁾	約145分(135)分	約660枚(610)枚
	連続再生時 ³⁾	約210分(195)分	約1570枚(1460)枚

温度25℃で満充電して使用したときの場合。()内は実用充電してからの場合。

- 1) 約10秒ごとに撮影
- 2) 約15秒ごとに撮影
- 3) 約10秒ごとにシングル画面を送りながら再生

- 低温時、電源の入/切をくりかえした時、時間/枚数は減ります。
- フロッピーディスクの容量は限られています。上記はフロッピーを交換しながら連続撮影/再生したときの目安です。

🔋 バッテリー残量時間表示

あと何分撮影/再生できるかを液晶画面に表示します。*

使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

* 撮影時は電源を入れた状態での残量時間。再生時は再生画を表示した状態での残量時間。

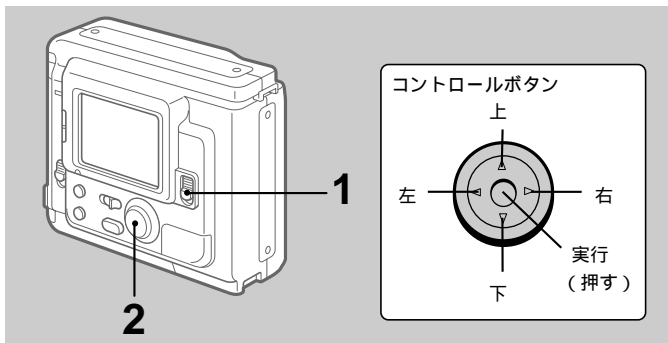
🔋 オートパワーオフ機能

撮影時本機の電源を入れたまま操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、約3分で自動的に電源が切れます。再び使うときはもう1度電源を入れてください。

準備3：日付・時刻を合わせる

コントロールボタンについて

ボタンの上下左右を押して、液晶画面に表示されるメニュー項目の移動ができます。各項目は、選択されると青色から黄色に変わります。ボタンの中央を押すと、選択されている項目を実行します。




はじめてお使いになるときは


最初にフロッピーディスクを入れ(13ページ)、電源を入れるとすぐにCLOCK SET(日時設定)画面が出ます。

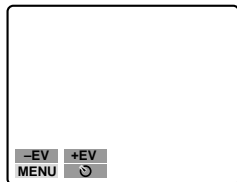
手順1で電源を入れたら手順4から操作してください。

1 POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。

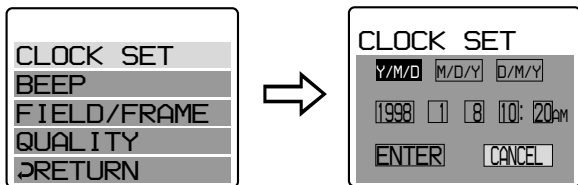
液晶画面に「」が出たら32ページの手順に従ってボタン型リチウム電池を交換してください。

2 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。

メニュー画面が表示される。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「RETURN」を選び、押す。



3 コントロールボタンで「CLOCK SET」を選び、押す。



4 コントロールボタンでお好みの年月日の表示順を選び、押す。

Y/M/D M/D/Y D/M/Y
年/月/日 月/日/年 日/月/年

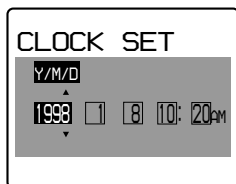
5 コントロールボタンで年月日および時間を選び、押す。

修正する項目の上下に▲/▼が表示される。

コントロールボタンの上下で数字を変更し、中央を押して確定する。

数字を確定すると次の項目に移る。

「D/M/Y」を選んだときのみ、時間は24時間表示で合わせる。



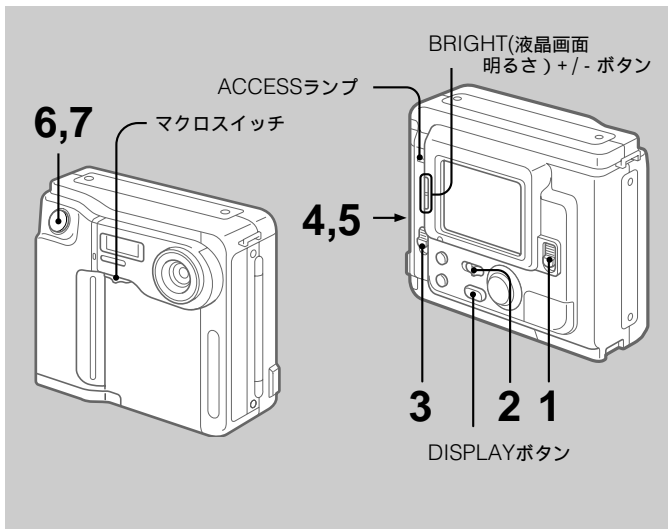
6 コントロールボタンで「ENTER」を選び、時報と同時に押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。

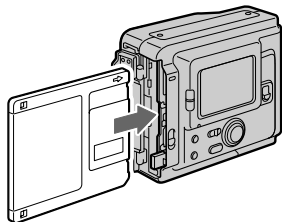
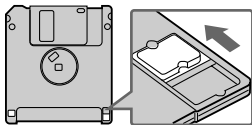
撮影する

3.5インチ2HD(1.44Mバイト)、MS-DOSフォーマットのフロッピーディスクが必要です。

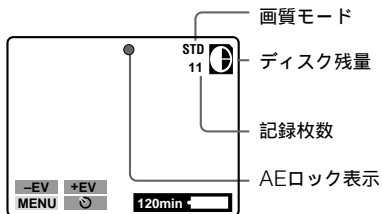


- 1** POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。
- 2** PLAY/CAMERAスイッチを「CAMERA」にする。
液晶画面にレンズがとらえた画像が映り、「NO DISK」の表示が出る。
- 3** OPENボタンを矢印方向にずらしてフロッピーディスクカバーを開ける。
青画面になり「COVER OPEN」の表示が出る。

- 4** フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。
フロッピーディスクのタブが書き込み可能状態であることを確認する。



- 5** フロッピーディスクカバーを閉める。
画像が映る。



- 6** カメラを被写体に向けシャッターを軽く押す。
液晶画面に緑のAEロック表示●が出る。
AE(自動露出) AWB(自動ホワイトバランス)がロックされる。

- 7** シャッターをさらに押し込む。
画像がフロッピーディスクに書き込まれる。
ACCESSランプが点滅し、液晶画面に「RECORDING」と表示され
ディスク残量表示が回転する。

ご注意

ACCESSランプ点滅中は、絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、フロッピーディスクカバーを開けたり、電源を切ったり、バッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されることがあります。

⇒撮影する

フロッピーディスク1枚に記録できる枚数

画質モードの設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。

STANDARD(標準)	約 30~40 枚
FINE(高画質)	約 15~20 枚

ディスク残量表示が空になり点滅したら、フロッピーディスクを交換してください。

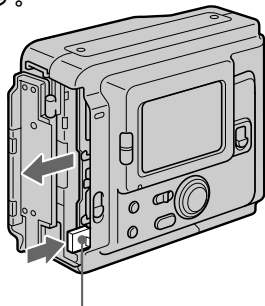
画質モードはメニューで設定します(28ページ)。お買い上げ時は「STANDARD」に設定されています。

ご注意

- ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとする、「DISK FULL」が出て撮影不能になります。
- ディスク残量表示が点滅したまま撮影を続けると、画像ファイルが記録されず、再生時インデックス画面が表示されないことがあります。

フロッピーディスクを取り出す

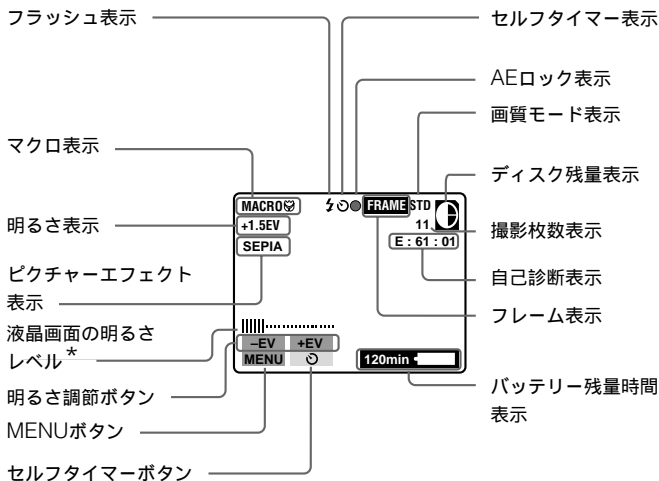
カバーを開け取り出しボタンを押す。



取り出しボタン

撮影中の画面表示

これらの表示は記録されません。



* ボタンを押したときのみ表示される。

表示を消す

DISPLAY (画面表示) ボタンを押す。

次の設定中は、表示は消えません。

ピクチャーエフェクト、マクロ撮影、FRAME、明るさ調節、AEロック、セルフタイマー、フラッシュ。

⇒撮影する

液晶画面の明るさを調節する

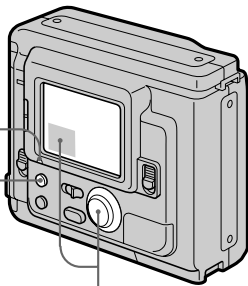
BRIGHT +/- ボタンを押して調節する。

フラッシュ/セルフタイマー

フラッシュ/充電ランプ

フラッシュ

FLASHボタンを押し、フラッシュ/
充電ランプが点滅から点灯に変わっ
たらフラッシュ撮影できる。
解除するにはもう1度押す。



セルフタイマー

コントロールボタンで画面上の
「☺」を選び、押す。
シャッターを押して10秒後撮影
される。

- 記録モードを「FRAME」にしてもフラッシュを使うと「FIELD」で撮影します。このとき画面のFRAME表示が点滅します(29ページ)。
- フラッシュの推奨撮影距離は50cm～3mです。

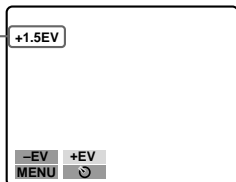
明るさを調節する

コントロールボタンで「+EV」または「-EV」を選び、くり返し押して調節する。

明るくするとき : +EV

暗くするとき : -EV

表示



0.5EVごとに-1.5EV~+1.5EVまで変えられます。

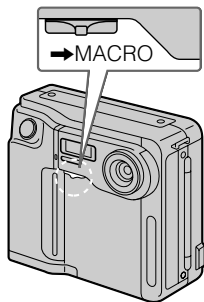
🔍 近くのものにピントが合わないとき

前面のマクロスイッチを「MACRO」側に動かします。

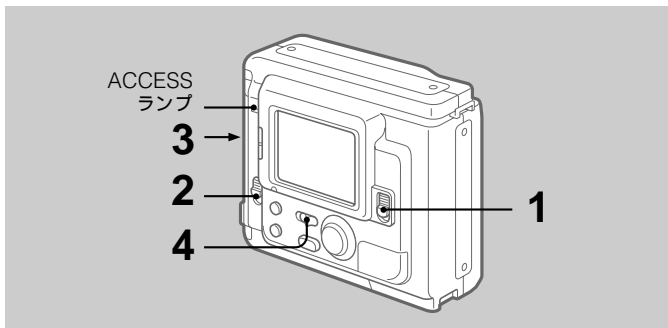
液晶画面にマクロ表示(MACRO🍷)が出ます。

ピントが合う距離は約8cm~25cm以上です。ピントは液晶画面を見ながらマクロスイッチで調節してください。

マクロ撮影終了後はスイッチをカチッと音が出るまで戻してください。そのまま撮影を続けると、遠くのものにピントが合わない場合があります。

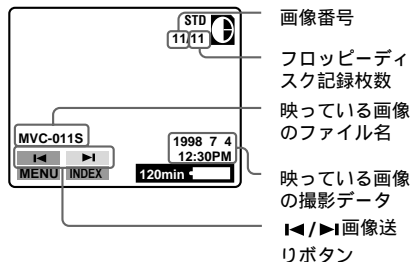


液晶画面で見る



- 1 POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。
- 2 OPENボタンを矢印方向にずらしてフロッピーディスクカバーを開ける。
- 3 フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込んで、フロッピーディスクカバーを閉める。
- 4 PLAY/CAMERAスイッチを「PLAY」にする。
最後に撮影した画像が出る。
- 5 前の画像を見るときは、コントロールボタンで「◀」を選び、押す。

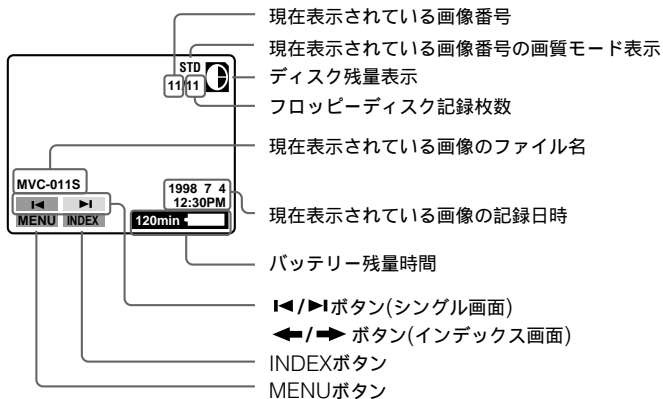
次の画像を見るときは「▶」を選び、押す。
画面表示を消しているときは、コントロールボタンの左右を押して画像を送ります。



ご注意

ACCESSランプ点灯中は、絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、フロッピーディスクカバーを開けたり、電源を切ったり、バッテリーを取り出したりしないでください。

再生中の画面表示



液晶画面の明るさを調節する

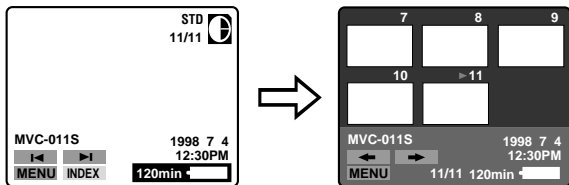
BRIGHT +/- ボタンを押して調節する。

⇒液晶画面で見る

画像を6枚ずつ表示する(インデックス表示)

コントロールボタンで「INDEX」を選び、押す。

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。



- 次の6枚を見るときは、コントロールボタンで「▶」を選び、押す。
- 前の6枚を見るときは「◀」を選び、押す。
- 液晶画面いっぱいに1枚の表示(シングル表示)に戻すときは、コントロールボタンで▶を移動し見たい画像を選び、押す。
- 画像右上の番号はフロッピーディスク内の記録順を示す番号です。ファイル番号(27ページ)とは違いますのでご注意ください。

撮った画像にプロテクトをかける

撮った画像にプロテクトをかける(シングル表示のとき)

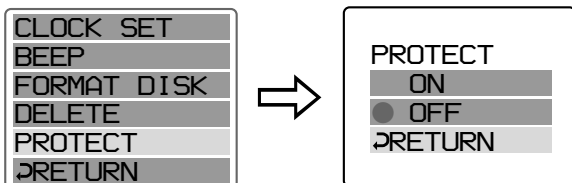
大事な画像を誤って消さないためにプロテクトをかけることができます。


1 プロテクトをかける画像を表示させる。

2 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。

メニュー画面が表示される。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「↵RETURN」を選び、押す。

- 3** コントロールボタンで「PROTECT」を選び、押す。
赤い が現在設定されているモードです。



- 4** コントロールボタンで「ON」を選び、押す。
プロテクトをかけた画像には、画面左上にプロテクトマーク()が
出ます。

中止するとき

コントロールボタンで「↵RETURN」を選び、押す。
メニュー画面に戻る。

プロテクトを解除するとき

手順4で「OFF」を選び、コントロールボタンを押す。

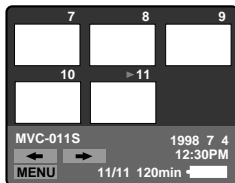
ご注意

画像にプロテクトをかけていても、フロッピーディスクをフォーマットすると画像は
消去されます。

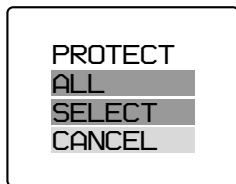
⇒液晶画面で見る

すべての画像または画像を選んでプロテクトをかける
(インデックス表示のとき)


- 1 コントロールボタンで「INDEX」を選び、押してインデックス表示にする。

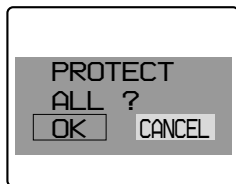


- 2 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。
メニュー画面が表示される。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「RETURN」を選び、押す。
- 3 コントロールボタンで「PROTECT」を選び、押す。



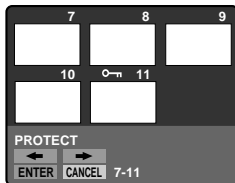
- 4 すべての画像にプロテクトをかける

- ① コントロールボタンで「ALL」を選び、押す。
- ② コントロールボタンで「OK」を選び、押す。
最初画面に戻り、すべての画像の左上にが表示される。



画像を選んでプロテクトをかける

- ① コントロールボタンで「SELECT」を選び、押す。
画面左下に「PROTECT」が表示される。



- ② コントロールボタンでプロテクトをかける画像に赤色の▶を表示させ、押す。
画像の左上に◀▶が表示される。
- 中止するときは、コントロールボタンを押し◀▶を消す。
- 前や次の6画面を表示するときは、コントロールボタンで「◀」または「▶」を選び、押す。
- ③ 選び終わったらコントロールボタンで「ENTER」を選び、押す。

インデックス表示でプロテクトを解除するとき

“画像を選んでプロテクトをかける”の手順と同様にする。手順②でコントロールボタンで解除する画像を選び、押す。画像の左上の◀▶が消える。解除したらコントロールボタンで「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

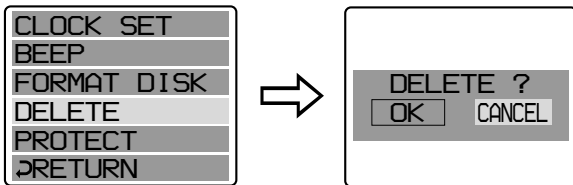
⇒液晶画面で見る

撮った画像を消去する

撮った画像を消去する(シングル表示のとき)

不要になった画像を消去できます。

- 1 消去する画像を表示させる。
- 2 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。
メニュー画面が表示される。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「↵RETURN」を選び、押す。
- 3 コントロールボタンで「DELETE」を選び、押す。



- 4 コントロールボタンで「OK」を選び、押す。

中止するとき

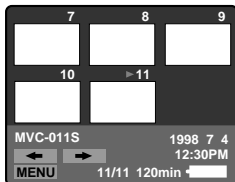
手順4で「CANCEL」を選び、コントロールボタンを押す。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 1度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

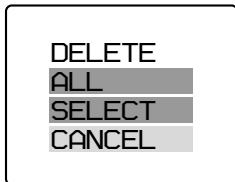
すべての画像または画像を選んで消去する
(インデックス表示のとき)

- 1 コントロールボタンで「INDEX」を選び、押してインデックス表示にする。



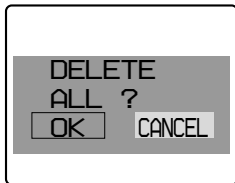
- 2 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。
メニュー画面が表示される。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「RETURN」を選び、押す。

- 3 コントロールボタンで「DELETE」を選び、押す。



- 4 すべての画像を消去する

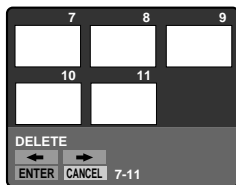
- ① コントロールボタンで「ALL」を選び、押す。
- ② コントロールボタンで「OK」を選び、押す。
青画面になり「NO FILE」と表示される。



⇒液晶画面で見る

画像を選んで消去する

- 1 コントロールボタンで「SELECT」を選び、押す。
画面左下に「DELETE」が表示される。



- 2 コントロールボタンで消去する画像に赤色の▶を表示させ、押す。

画面番号が反転する。

中止するときは、コントロールボタンを押す。

反転した画面番号が戻る。

前や次の6画面を表示するときは、コントロールボタンで「◀」または「▶」を選び、押す。

- 3 選び終わったらコントロールボタンで「ENTER」を選び、押す。

選んだ画像が消去され残った画像の画面番号が繰り上がる。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

ご注意

- 「ALL」消去を実行してもプロテクトされている画像は消去できません。
- 「SELECT」消去を選んだとき、プロテクトされている画像は選択できません。
- プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 1度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

パソコンで見る

本機で撮影した画像データはJPEG方式で圧縮されています。JPEG画像を見ることのできるアプリケーションがインストールされているパソコンで、フロッピーディスクの画像を見ることができます。画像の取り込みなど詳しい操作方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

例：Windows 95がインストールされているパソコンでの操作

- 1 Windows 95を起動し、フロッピーディスクをパソコンのディスクドライブに入れる。
- 2 [マイコンピュータ]を開き、[3.5インチFD]をダブルクリックする。
- 3 見たい画像のファイルをダブルクリックする。

ファイル名について

本機では画像をJPEG(拡張子.JPG)方式で圧縮・保存していますが、同時にインデックス用に特殊なファイルデータ(拡張子.411)も記録しています。インデックス表示用のデータは本機以外のパソコンなどでは見ることはできません。

例)

MVC-001F.JPG：画像のデータファイル名

MVC-001F.411：インデックス用のデータファイル名

推奨OS / アプリケーション例

OS

- Windows 3.1
- Windows 95
- Windows NT3.51以降など

アプリケーション

- Microsoft Internet Explorerなど

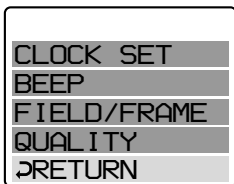
ご注意

マッキントッシュではMac OS System7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したフロッピーディスクを使用することができます。画像を開くにはマッキントッシュ用アプリケーションが別途必要です。

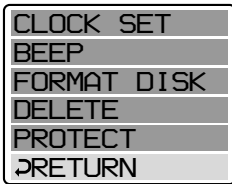
メニューで設定を変える

- 1 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。
メニュー画面が表示される。

CAMERAのとき



PLAYのとき



- 2 コントロールボタンで希望の項目を選び、押す。
各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンを押すと希望の項目だけが表示される。
- 3 コントロールボタンで設定を切り換え、押す。
設定が終わるとメニュー画面は消える。

中止するとき

コントロールボタンで「↵RETURN」や「CANCEL」を選び、押す。
メニュー画面に戻る。メニュー画面から抜きたいときは、コントロールボタンで「↵RETURN」を選び、押す。

各設定項目の説明

PLAY/CAMERAスイッチが「CAMERA」のとき

QUALITY (画質モード)	STANDARD	標準の画質
	FINE	高画質

- 記録可能枚数の目安は、STANDARDで約30～40枚、FINEで約15～20枚です。
被写体によって記録可能枚数は変わります。

FIELD/FRAME
(記録モード)

FIELD フィールド記録。画像のブレを低減して記録する。
FRAME フレーム記録。よりきめ細かい画像で記録する。

- FRAMEモードで動きの速い被写体を撮影すると、画像はブレて撮影されます。
- FRAME撮影中は、手ブレにご注意ください。三脚などに固定して撮影することをおすすめします。
- FRAMEに設定してあっても、フラッシュ撮影時はFIELDで記録されます。この場合、FRAME表示が点滅します。

PLAY/CAMERAスイッチが「PLAY」のとき

PROTECT
(プロテクト)

撮った画像にプロテクトをかける。
詳しくは20ページ

DELETE
(消去)

撮った画像を消去する。詳しくは24ページ

FORMAT
(フォーマット)

OK 本機に入っているフロッピーディスクをフォーマットする。
CANCEL フォーマットを中止する。

- フォーマットするとフロッピーディスクの内容はすべて失われます。フォーマットする前に内容を確認してください。画像にプロテクトがかかっている場合でも消去されますのでご注意ください。
- 必ずバッテリーが十分に充電された状態でフォーマットしてください。フォーマットには最大約3分かかります。

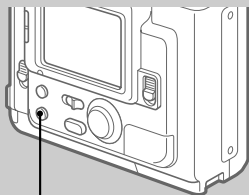
⇒メニューで設定を変える

PLAY/CAMERAスイッチが「CAMERA」または「PLAY」のとき

BEEP (お知らせブザー)	ON	シャッターを押したときなどにブザーが鳴る。
	OFF	ブザー音は鳴らない。
CLOCK SET (日時合わせ)	日付・時刻を合わせる。詳しくは10ページ	

お買い上げ時の設定

画像に特殊効果を与える ピクチャーエフェクト




PICTURE EFFECT ボタン

PICTURE EFFECTボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。

PASTEL(パステル)	: 淡い色のパステル画のように
NEG. ART(ネガアート)	: 写真のネガフィルムのように
SEPIA(セピア)	: 古い写真のような色合いに
B&W(モノトーン)	: 白黒に

解除するには、PICTURE EFFECTをくり返し押して画面内の表示を消す。電源を切るか「PLAY」にすると、自動的に解除されます。

ボタン型リチウム電池を交換する

「」の点滅表示が液晶画面に出たときはボタン型リチウム電池を交換してください。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。電池残量のあるバッテリーを本体に入れて交換すれば、日付・時刻の再設定は不要です。

ボタン型リチウム電池は合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持します。ボタン型リチウム電池は+と-の向きを正しく入れてください。

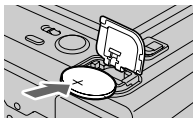
- 1 ボタン型リチウム電池カバーを下にスライドさせてから開ける。



- 2 ボタン型リチウム電池を押し上げながら引き出す。



- 3 ボタン型リチウム電池の+ (プラス) 面が見えるようにはめ込む。



- 4 ボタン型リチウム電池カバーを閉める。



使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにするをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- クリーニングディスクは2HDタイプのみ使用できます。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

⇒使用上のご注意

動作温度にご注意ください。

本機の動作温度は約0 ~ 40 です。スキー場など極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取出してください。電源を切ってフロッピーディスクカバーを開けたまま結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密閉します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。液晶画面に「C : : 」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。37ページをご覧ください。

症状	原因 / 処置
操作を受け付け ない。	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗している。<ul style="list-style-type: none">▶ 充電されたバッテリーを入れる。(8ページ)● インフォリチウムバッテリーを使用していない。<ul style="list-style-type: none">▶ インフォリチウムバッテリーを使う。(4ページ)● フロッピーディスクの位置がずれている。<ul style="list-style-type: none">▶ フロッピーディスクを取り出して入れ直す。(14ページ)
撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none">● PLAY/CAMERAスイッチが「CAMERA」になっていない。<ul style="list-style-type: none">▶ 「CAMERA」にする。(12ページ)● すでに限度いっぱい撮影している。<ul style="list-style-type: none">▶ 不要な画像を消去してから撮影する。(24ページ)▶ フロッピーディスクを取り換える。● バッテリーが消耗している。<ul style="list-style-type: none">▶ 充電されたバッテリーを入れる。● フロッピーディスクが入っていない。<ul style="list-style-type: none">▶ フロッピーディスクを入れる。● 本機では使用できないフロッピーディスクを入れた。<ul style="list-style-type: none">▶ 2HD、1.44Mバイト、MS-DOSフォーマットのフロッピーディスクを使う。(5ページ)● フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。<ul style="list-style-type: none">▶ 書き込み可能にする。(13ページ)
ピントが合っ ていない。	<ul style="list-style-type: none">● マクロスイッチが「MACRO」になっている。<ul style="list-style-type: none">▶ 通常の撮影に戻す。(17ページ)
ノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none">● テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。<ul style="list-style-type: none">▶ テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none">● 逆光になっている。<ul style="list-style-type: none">▶ 画像の明るさを調節する。(17ページ)▶ 液晶画面の明るさを調節する。(16、19ページ)

⇒故障かな？と思ったら

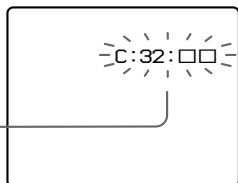
症状	原因 / 処置
正しい撮影日時が記録されない。	<ul style="list-style-type: none">• 日付・時刻を合わせていない。 → 日付・時刻を合わせる。(10ページ)
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	<ul style="list-style-type: none">• スミア現象という現象。 → 故障ではない。
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none">• 温度が極端に低いところで撮影 / 再生している。• 充電が不十分。 → 十分に充電する。• バッテリーそのものの寿命。 → 新しいバッテリーに交換する。
再生ができない。	<ul style="list-style-type: none">• PLAY/CAMERAスイッチが「PLAY」になってない。 → 「PLAY」にする。(18ページ)• バッテリーが消耗している。 → 充電されたバッテリーを入れる。
画像を消去できない。	<ul style="list-style-type: none">• プロテクトされている。 → プロテクトを解除する。(23ページ)
電源が途中で切れる。	<ul style="list-style-type: none">• 「CAMERA」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。 → 電源を入れる。• バッテリーが消耗している。 → 充電されたバッテリーを入れる。

自己診断表示

アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁()の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

- 「C: : 」:
お客さま自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E: : 」:
デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:	フロッピーディスクドライブの異常。	フロッピーディスクを交換し、電源を入れ直す。
C:13:	フォーマットしていないフロッピーディスクを入れた。	フォーマットする。(29ページ)
	本機では使えないフロッピーディスクを入れた。データが壊れている。	フロッピーディスクを交換する。(13、14ページ)
E:61: E:91:	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁のすべてをお知らせください。 例：E:61:10

主な仕様

システム

撮像素子 1/4インチカラーCCD
レンズ 単焦点レンズ $f=4.8$
mm(35mmカメラ換算では47 mm)
F2.0

露出制御 自動

ホワイトバランス 自動

データ圧縮方式 JPEG方式

フロッピーディスク1枚あたりの
記録枚数の目安

STANDARDモード:

約30~40枚

FINEモード:

約15~20枚

画像サイズ 640 × 480(VGA)

記憶媒体 3.5 インチ 2HDフ
ロッピーディスク
(1.44 Mバイト)
MS-DOSフォーマット

フラッシュ 推奨撮影距離
50 cm ~ 3 m

液晶画面

画面サイズ 2.5型

使用液晶パネル TFT(薄膜トランジ
スタアクティブマト
リックス)駆動

総ドット数 61380ドット

電源・その他

使用バッテリー NP-F530/F550

電源電圧 バッテリー端子入力
7.2 V

消費電力(撮影時) 3.2 W

動作温度 0 ~ +40

保存温度 -20 ~ +60

最大外形寸法 126.5 × 110.5 × 62.5
mm(幅 × 高さ × 奥行き)

本体質量 約470 g(バッテ
リー、フロッピーディ
スク含まず)

付属品

リチウム電池 CR2025

(本体に装着済み)(1)

取扱説明書(1)

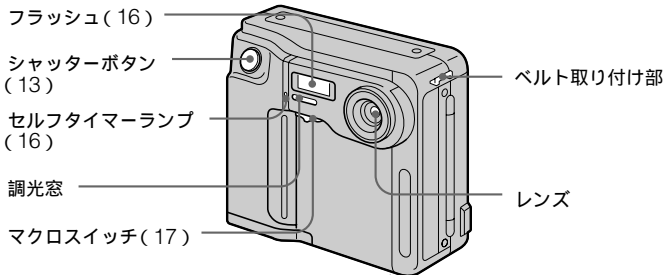
安全のために(1)

保証書(1)

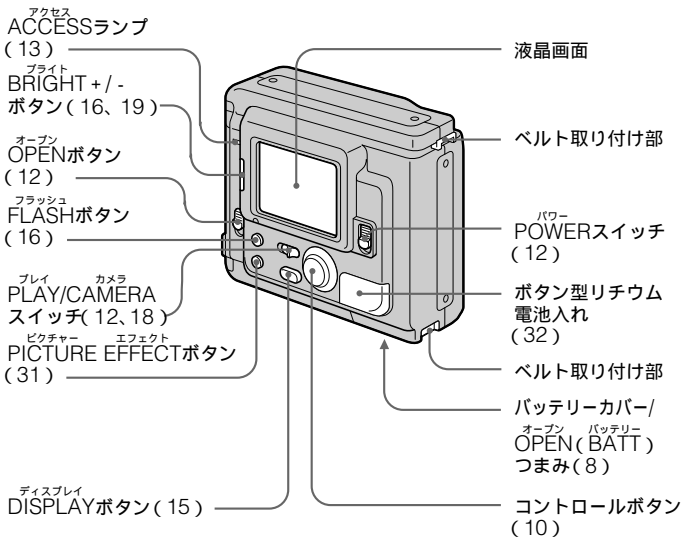
本機の仕様および外観は、改良のため予
告なく変更することがありますが、ご了
承ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。



三脚用ネジ穴(底面)
ネジの長さが6.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。



⇒各部のなまえ

警告表示

液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがってチェックしてみてください。

表 示	意 味
DRIVE ERROR	フロッピードライブの異常。
NO DISK	フロッピーディスクが入っていません。
DISK ERROR	フロッピーディスクの異常。 本機で使用できないフロッピーディスクが入っています。
DISK PROTECT	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっています。
DISK FULL	フロッピーディスクがいっぱいで記録できません。
NO FILE	画像が記録されていません。
FILE ERROR	画像再生時の異常。
FILE PROTECT	画像にプロテクトがかけられています。
COVER OPEN	フロッピーディスクカバーが開いています。
🔋	バッテリーの残量がありません。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはデジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのバッテリーチャージャーBC-V615はAC 100 V ~ 240 V・50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

索引

ア行

明るさ調節	
液晶画面	16、19
画像	17
インデックス表示	20
“インフォリチウム”バッテリー	4
液晶画面で見る	18
オートパワーオフ機能	9
お知らせブザー	30
お手入れ	33

カ行

海外で使うとき	41
画質モード	28
画面表示	15
警告表示	40
結露	34
コントロールボタン	10

サ行

撮影する	12
自己診断機能	37
実用充電	7
充電	7
消去	24
セルフタイマー撮影	16

ハ行

パソコンで見る	27
バッテリー	7、8
バッテリー残量表示	9
バッテリーチャージャー	7
ピクチャーエフェクト	31
日付・時刻合わせ	10
フォーマット	29
フラッシュ撮影	16
フロッピーディスク	5、33
プロテクト	20
ボタン型リチウム電池	32

マ行

マクロ撮影	17
満充電	7
メニュー	28

アルファベット順

AE(自動露出)	13
JPEG	4、27

デジタルスチルカメラ

MVC-FD51

ご案内

デジタルスチルカメラMVC-FD51をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この度ソニーでは、お買い上げいただいたデジタルスチルカメラのご相談窓口「デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンター」を開設いたしましたので、ご案内させていただきます。

デジタルマピカ テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979

受付時間: 月～金 午前9時～午後5時

(ただし、年末、年始、祝日を除く)

万一不具合が生じた時には

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。

また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便で取りにお伺いしますので、先ずお電話をください。